



同窓会会長 中 泉 松之助

新たな創造の年に

同窓生の皆様には、日頃より母校の振興と教育の充実の為、特段の御指導と御支援を賜り心より感謝申し上げます。去る三月一日、卒業式の前日でありましたが恒例の同窓会入会式を行い、新たに一七四名を迎え、同窓総数二二、五四七名となりました。

昨年から平成三十年の創立九十周年に向けた計画を立ててまいりましたが、いよいよ新年度から、準備委員会、実行委員会等、具体的な行動を起こしていくこととなります。

手始めに、今年の同窓会総会は、六月二十六日(日)午後二時より秋田駅前、ビューホテルで開催致すこととしており、これまでとは違い把握できる同窓生全員に、案内を差し上げ、又、他校の例等も参考に魁新聞にも案内広告を掲載いたします。そのための実行委員会を昨年から立ち上げて、参加者二百名を目指し

て取り組んでおります。学校側も、少子化対応の中心の秋田県の高校再編計画でも、本校が本県農業高校の基幹となり進むという方針を弾みに、同窓の鈴木校長先生を中心に頑張つていただいております。勤勉なすばらしい校風となりました。スポーツ金農の復活のため同窓会もサポートしたいと心掛けてまいりました。ラグビー部が全国選抜大会初出場で、明るい話題を提供してもらいました。野球部も強化に繋がる環境が整いました。生徒数が少なくなりましたが個人競技の



第25号

秋田県立
金足農業高等学校
同窓会発行
〒010-0126
秋田市金足追分
字海老穴102の4
☎018-873-3311
株式会社 八郎湯印刷
八郎湯町
☎018-875-4005

活躍も上昇中です。今年「丙・申(ひのえさる)」の年。「昨年の事柄が一段とはつきりする年だが、有頂天は禁物」という千枝の謂れを肝に銘じ「新たな創造の年」になるよう、本年度もよろしくお願い申し上げます。



創立八十八周年を迎えて

校長 鈴木 誠孝

同窓会会員の皆様には、日ごろから母校愛と平素の学校に対するご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、ここ美しき郷も春の季節を迎え、四月六日には入学式を挙行し、新入生百七十五名が胸を張って元気に入学しました。今年も一般選抜の最終倍率はおかげさまで、全県トップ、一位の高倍率でありました。本校の人氣については、農業教育の中心校として、地域に根ざしながらも、特色ある農業教育を実践してきていることが、県民や地域、中学校から評価されているのではないかと嬉しく思っています。

学校の近況としては、昨年度、部活動でウエイト、柔道、ボクシング、バドミントン、相撲の五つの部で、インターハイに出場し、これに陸上部を加えて六つの部が東北総体に出場しました。近畿国体でも、ウエイトと相撲部が活躍し、金農はもとより、スポーツ立県秋田の名を全国に知らしめてくれました。

また、この三月にラグビー部が全国四校のうちの各校の推薦枠に選ばれ、全国選抜大会へ出場しました。

今、高校のスポーツの実態を見てみると、東北大会、全国大会に出場してこる全国レベルの学校は、秋田県を除いて、そのほとんどが私立の学校です。その中にあって、県立高校として、農業教育と文武両道をしつかり実践し、学校全体の頑張りも評価されて、選ばれたものと思っております。

また、農業教育の根幹である農業クラブでも、三つの競技会の運営事務局校として活躍し、競技会でも多くの賞を取り、本校の存在価値を県内外にアピールできました。

さらに、金農祭では、約千六百人の来校者があり、日頃の学習や研究の成果を大きく披露することができ、地域との絆も深まりました。金農祭の充実ぶりは他校では見ることができないほど内容が深く、本当に誇らしく感じました。

一方、三年生の進路において、進学では、静岡大学、秋田県立大学など四人が国立大学に合格し、また明治大学、東京農大、日体大、日大、東北福祉大など私立有名校や、そして医療看護系の学校にも多く生徒が合格しました。

就職では、特に、国家公務員三名、秋田県庁に四名、市・地区消防に二名、自衛隊に二名など十一名が公務員に合格しました。進路は三年間の成果、集大成であります。これもやはり、文武両道をしつかり実践してきた成果であると思っております。

また、昨年度は、秋田県の農業教育の中心校として、全国高等学校農業士木教育研究協議会秋田大会、東北地区高等学校農業教育研究会秋田大会の運営事務局校として、万端滞りなく開催し、東北地区や全国に、本校の存在感を示すことができました。このことも生徒の自信や誇りにつながってくればと思っております。

本校は秋田県農業教育の中心校として、色々な意味で、背負うものも大きく、また地域や県民の皆様が期待されていますが、同窓会の皆様から見ても、より魅力的な農業高校として評価され、いい学校になるように頑張らねばと思っております。

今後本校の発展・充実には、同窓会の皆様の叱咤激励や、お力添えが必要であります。今後とも、母校に対するご支援、ご協力をよろしく願います。同窓会のご健勝を祈念して、金農の近況報告とします。

